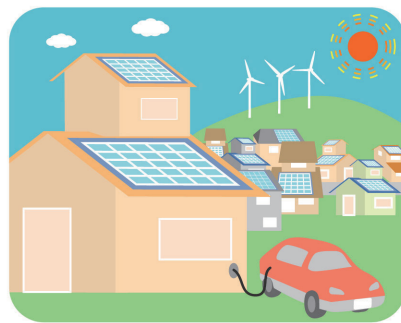


地球温暖化防止のために

食を支える第1次産業は異常気象の大きな影響を受けます。台風被害だけでなく、病害虫による被害、適正作物の変化なども起きてきます。館山近海でとれる魚の種類も変化しています。また、令和元年の台風の後、「やっぱり地球温暖化対策に取り組まなきゃだめだよ」という声を多く聞きました。



二酸化炭素排出量削減のために更なる取り組みを

大きな工場がない館山では、排出される二酸化炭素の多くはゴミの焼却に由来するものです。ゴミの減量が、二酸化炭素排出量を減らすことに繋がります。リデュース(減量)、リサイクル(再生)、リユース(再利用)、リペア(修理)の4つのRを心掛けたいです。市としても、フードバンクの活用、古着の回収、過剰包装の見直しなどを進めて欲しいと思います。

再生可能エネルギーの活用促進を

館山市は、太陽の光が溢れ、風が吹き、植物資源に恵まれ、再生可能エネルギーの宝庫です。産官学民の協働事業を推進することで、再生可能エネルギーの活用を進めるべきと考えます。地域内の電力を地域内で生産し、災害時はそれを活用する仕組みを作ることも今後の研究課題です。

地球環境を守っていく姿勢を気候非常事態宣言で

気候非常事態宣言が国会でも可決されました。台風の時には、多くのテレビ局が富崎地区に入って「令和元年の台風15号で大きな被害を受けた館山では…」と中継をしていました。館山市が気候非常事態宣言を表明することに大きな意味があります。

地球温暖化防止については今後、国の補助事業が増えることも予想されます。機を逃さず早急な対応を望みます。

再生可能エネルギーを活用する仕組みを作ることは、災害時の電力確保につながります。また、クリーンなエネルギーで自然に優しい暮らしのできるまちとして、移住促進にも繋がるのではないのでしょうか。

令和元年の台風以来、市内外の多くの方たちが、館山の再生、復興のために動いています。地球環境を守ることに積極的に取り組む姿勢を見せることがこの努力に報いることだと考えます。

★令和2年12月議会で 決定した主なこと

- マイナンバーカードを利用して、コンビニエンスストアでの印鑑証明の受け取り開始(令和3年3月予定)
- 有害鳥獣対策事業 1420万円増額
- 自立支援等給付事業 1億1909万円
- 学校施設改善事業(トイレ改修、耐震改修等) 1億1676万9千円
- ひとり親世帯臨時特別給付金 2364万1千円
- 高齢者等PCR検査助成金 600万円

債務負担行為として

(今年度終了しない事業の後々の支出を決めておくことです)

- | | | |
|---|-----|------------|
| ●食のまちづくり拠点整備事業 | 限度額 | 5億6000万円 |
| ●食のまちづくり拠点施設指定管理委託料 | 限度額 | 4億円 |
| ●ジビエ加工処理施設整備事業 | 限度額 | 1200万円 |
| ●ジビエ加工処理施設指定管理委託料 | 限度額 | 1875万円 |
| ●第三中学校校舎解体工事請負費 | 限度額 | 3億2000万円 |
| ●ICT支援員派遣委託事業 | 限度額 | 4617万4千円 |
| ●地域包括支援センター運営事業委託料 | | |
| 【令和3年度から5年度まで(令和4年度からセンターを現在3か所から4カ所へ増設)】 | | |
| | 限度額 | 2億5487万6千円 |

おわりに



新型コロナウイルス感染症が私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。新しい生活様式が叫ばれています。

小中学校でのタブレット端末配備、コンビニでの印鑑証明の受け取りを皮切りに、デジタル化が一気に進むと予想されます。

市内循環バスの実証実験、食のまち拠点整備、ジビエ加工処理施設整備など新しい事業が始まります。国土強靱化計画、旧神戸小学校跡地の利活用、公共交通がな

い地域での移動手段、西岬消防署と神戸分遣所の統合など様々な課題の検討も始まっています。また、昨年館山市がいくつかの団体、企業、大学と結んだ包括協定を、具体的な施策へと発展させる作業も行われなくてはなりません。

多くの変化が起きる節目です。「いつの間にか変わっていた」ではなく、変化をしっかりと見据え、私たちの生活と子どもたちの未来にとってより良い方向へ変えるよう一緒に考えていきましょう。